7月18日（土曜日）「出世しても」

【新改訳 2017】

伝道者の書　2•1－26

「私は、私に目の浴するものは何でも拒まず、心のおもむくままに、あらゆる楽しみをした。‥‥‥しかし、私が手がけたあらゆる事業と、そのために私が骨折った労苦とを振り返ってみると、なんと、‥‥‥むなしいことよ。‥‥‥」（10、11節）

　きょうの聖句は、2 章全体の内容のまとめでもあります。著者は大出世した人でした。事業も拡張し、邸宅も庭園も農園も豊かでした。奴隷も家畜も金銀も、多くのそばめもおり、快楽も思うままでした。知恵にも恵まれ、これ以上の成功はないほどでした。

　しかし、それだけではむなしかったのです。理由は、①王の跡継ぎの良い保証はないこと、②知者も愚か者も同様に死ぬこと、③苦労して蓄えたものも、苦労しなかったものに譲らねばならないことなどです。突き詰めるとむなしくなりませんか。

　解決は１つです。「日の下」人生観から、天の神を見る生き方に変えることです。その時、永続的な価値と充実を見出すこと

が出来るからです。

～祈り～

主よ。あなたとの関係で人生の充実と幸福を考えない限りは、いかなる成功や所有も、究極的にはむなしいことを教えられます。あなたとの関係を第一にできるように助けてください。

【学びのために】

注意:事業や財産が悪いというのではありません。創造主にして保持者なる神を抜きにして生きる時、それらのものが決して真の満足を与えることはできないと証言しているのです。